

平成27年5月15日



久留米大學法學部同窓會会報

KURUME UNIVERSITY LAW ALUMNI ASSOCIATION

2015

2015年号 久留米大學法学部同窓会会報

CONTENTS

ご挨拶

2015年号発刊によせて	会長 折戸 謙介 1
2015年同窓会挨拶	法学部長 荒井 功 1

大学関係

新棟建設・ホームカミングデー開催	2~3
久留米大学中国会創設8周年記念会参加レポート	4
サークル訪問 少林寺拳法部	5
法学部パーティ／職業と社会	6
法学部第25回卒業式・祝賀会／卒業生抱負	7

企画

会社探訪	8
第1回法学部同窓会主催 懇親ボーリング大会実施報告	9

同窓会活動

平成26年度定期総会の報告 平成25年度決算・平成26年度予算	10
同窓会活動報告	11
執行部役員紹介	12~13
大家名誉教授傘寿／櫻会開催	14

お知らせ

平成27年度定期総会のお知らせ	17
-----------------	----

編集後記

17

平成27年度

～～～～ 久留米大学法学部同窓会総会・懇親会開催のお知らせ ～～～～

平成27年度久留米大学法学部同窓会定期総会を、下記により開催いたします。
総会終了後の懇親会では、ゲーム等イベントも企画しております。公私ともにご多忙のこととは存じますが、是非ご出席賜りますようご案内申し上げます。

日 時	平成27年5月30日（土） 14時30分開始予定（受付：14時より）
場 所	久留米大学・御井キャンパス 学生会館3階ミーティングルーム
議 題	・平成26年度事業報告ならびに決算承認について ・平成27年度事業計画ならびに予算案承認について
その他の	総会終了後に懇親会を開催いたします *懇親会会場 学生会館2階「櫻（けやき）」（16時開始予定） *会費無料（懇親会からの参加もお待ちしております）

*出次のご連絡は会報と同封のハガキにてお願ひいたします。

●表紙写真



一昨年、着工され第1期工事が終了した御井本館です。
現在100号館を取り壊し、
第2期工事に取り掛かっております（2017年竣工予定）。
今後、御井キャンパスのシンボルタワーとして新しい久留米大学文系学部の未来を形作る基礎となるでしょう。

●裏表紙写真



御井本館が建設される以前の様子です。
回廊を中心とした庭園の奥には、旧400号館が見えます。
ここは以前、図書館、情報教育センターとして利用されていました。



久留米大学法学部同窓会会報 2015年号発刊によせて

久留米大学法学部同窓会 会長 折戸 謙介

会報2015年号をお届します。ふと、同窓会が現在の形に再建されてから、今年で10年になることに気が付きました。現在の同窓会が再建される礎となった卒業生集会は、怒号と罵声の飛び交う非常に物々しい雰囲気の会合でした。そんな中で再建することを決定し、私は会長に就任、同窓会の活動をリスタートさせたのです。あの時はまさかこんなに長い間、自分が会長を務めることになるとは夢にも思いました。

これまで発刊した会報を読み直してみると、それなりにこの同窓会にも歴史があることに気付かされます。そして、再建当初からの役員の仲間も少なくなってしまいました。考えてみると、学生として通っていた4年間より、遙かに

長い期間、久留米大学に通っているわけです。そう思い、学内を見渡してみると、掲示板前の木々や、ケヤキもずいぶん大きく成長し生い茂っています。校舎も新しく建てられたものが沢山あり、今もキャンパスでは新棟建設が施工されています。10年ひと昔と言つたりしますが、私にとってはあつという間でした。でも、確実に時が経過したことを感じます。

同窓会は同窓生のためにある。同窓生たちが帰ってくる場所を守って行く。私たちは、そうした理念を忘れてはいけません。長く活動していると、そうした基本的なことすら忘れがちです。初心に返って、様々なことに挑戦する年にしたいものです。



2015年 同窓会挨拶

法学部長 荒井 功

卒業生のみなさんお元気でしょうか。

一昨年秋に始まった御井本館の一期工事が1月末に終しました。3月までに什器を装備して4月から利用が始まります。一階のホールは、ラーニング・コモンズとして学生が教員と語らい自発的に学修する場となります。3月には、御井本館のお披露目を兼ねて、本学で最初のホームカミングデーが実施されます。卒業生の皆さんをキャンパスにお迎えして、母校の現況に触れるとともに旧交を温める機会になるものと思います。今後も毎年開催する予定ですので是非お越しください。

久留米大学の現況について御報告いたします。まず、残念なことからですが、昨年3月末に法科大学院の学生募集を平成27年度から停止することを発表しました。平成17年に発足してから10年の節目を迎え、ひとつの使命を果たしたものと判断した結果です。この間に法科大学院では180余名の入学者を受け入れ、29名の司法試験合格者を出してあります。今後は在学生の教育と修了者の司法受験支援を行います。数年後には法科大学院所属教員は法学部に合流することになるでしょう。

つぎに法学部ですが、学生ニーズにあわせて教育・入試

制度を改革し、今年4月に入学する学生から2年進級時に学科・コースを決定するよう改めました。入試も学科別ではなく学部一括で募集するようにしました。1年生のときに教養科目と法学・政治学の入門科目を学び、自分の適性や進路をよく考えてから決められるようにするのが趣旨です。

法学部のことをよく知つもらうために、学部紹介の動画をYouTubeに載せています。学生の座談会、キャンパス紹介のほか、AKBの「恋するフォーチュンクッキー」をBGMとした楽しい出し物もあります。企画も出演もすべて学生ですので、是非ご覧ください。

教員スタッフの異動では、昨年3月には小竹一彰教授が特任教授となり、今年3月には石川捷治教授と阿部三樹夫教授が定年を迎えますが、昨年4月には相澤直子教授（憲法）が法科大学院に加わっており、今年4月には土肥勲司講師（行政学）が学部に着任します。

大学をとりまく環境も変わりますが、久留米大学も日々新たになっております。今後とも、卒業生のみなさんとともに地域に愛される大学として歩んでいきたいと考えます。ご支援賜りますようお願いいたします。



ホームカミングデーとは

大学が、卒業生を母校で歓待する日をホームカミングデーと呼びます。

日本では私立大学を中心として行われていたようですが、近年、国立大学にも広がりを見せ、同窓生や教員による講演会、在学生によるアトラクション、学内ツアーの実施、食堂の開放などのイベントが行われています。

最上階からの眺望

福岡の桜の開花が発表された3月22日（日）、久留米大学御井キャンパスの新しいシンボルとなる“御井本館”のお披露目を兼ねたホームカミングデーが開催されました。



開放感のあるエントランス



憩いのひと時を…カフェテリア



学生が主体的に授業に参加する“アクティブラーニング”を想定したラーニングコモンズ

平成25年9月着工、今年1月22日の竣工式を終えた御井本館第Ⅰ期工事。

この御井本館は、旧400号館を中心とする庭園部分を取り壊した跡地に、管理棟、教室・研究室の機能を併せ持つ新棟を建設し、御井キャンパスの新たな教育、研究環境の整備充実を図り久留米大学の新しい時代を拓く役割を担うシンボルマークとなるものです。



学生によるアトラクション

さて、この度久留米大学初の試みとして開催されたホームカミングデー。

今年度4月からの運用開始に先駆け、卒業生の皆様に御井キャンパス新時代の幕開けを目にさせていただく良い機会ということでもあり同窓会としても全面的にご協力させていただきました。

卒業してから数年～数十年、母校久留米大学御井キャンパスに足を運ぶのは卒業式以来初めてという方も少なくなく、久しぶりの母校・学び舎の変貌にあちらこちらで驚きの声が聞こえてきました。

白く陽に照らされ輝く御井本館には、新しく御井キャンパスの時を刻んでいく時計塔が設置され、キャンパスのモニュメントとしての存在感に包まれています。



講演会に聞き入る卒業生

文学部社会福祉学科子ども家庭福祉コースの
学生が利用するピアノ練習室

高い天井から光が差し込むエントランス

ホームカミングデーではまず、商学部の塚崎公義教授による講演会が催され、その後新棟「御井本館」の施設を卒業生の皆様に見学していただきました。

さらに、御井キャンパス内を巡ったのち、御井学生会館2階「櫻(けやき)」に場所を移して懇親会が開催されました。

懇親会には神代理事長、永田学長を始めとする大学役職者も参加し、商学部1期の大先輩を含めた約140名の卒業生と昔話に花を咲かせ、大変和やかなひと時を過ごしました。

2016年には御井本館第Ⅱ期工事が完了し、いよいよ御井キャンパスの新しい歩みが始まります。

同窓生の皆様にはぜひ、キャンパスに足をお運びいただき懐かしさと変わりゆく学び舎の姿を目にしていただければ幸いです。



幼稚園・保育園等で勤務することを想定した実践的なブレイルーム



懇親会でのひとこま

ご支援のお願い

久留米大学の発展にご協力をお願いいたします

大学より同窓生の皆様に「本学発展のご支援のお願い」とのことことで、御井本館建築事業募金のお願いが寄せられております。

ホームカミングデー記事にもありますように、久留米大学では現在、より快適な教育環境づくりを目指し御井キャンパスに御井本館の建築が進められております。

久留米大学の新しいシンボルとしての御井本館は、2016年にすべての工事が完了する予定となっており、これをご支援いただくための募金です。

詳細に関しましては大学ホームページ<http://www.kurume-u.ac.jp/>よりご覧いただけます。

皆さまのご理解及びご支援を心よりお願いいたします。



久留米大学中国会

創設8周年記念会参加レポート

同窓生の皆さん、「久留米大学中国会」という組織をご存知でしょうか？久留米大学（以下、本学と略）では、平成26年5月現在で現在全学生数約8,000名中、留学生が約231名在籍していますが、そのうち中国出身者が218名（全体の9割以上）おられ、学部・大学院を卒業した中国出身者も350名いるなど、中国各地・各方面で大いに活躍されています。この中国に帰国した本学留学生を中心に、「中国における本学同窓生ネットワークを構築し、入学希望者の支援とともに親睦と日中の友好交流に資する組織」として「久留米大学中国会（以下、中国会と略）」が平成18年11月に発足いたしました。いわば「中国会」は本学同窓会の中国版といえるのです。

これまでに学術セミナーや3周年、5周年の記念行事を行ってきましたが、発足後初めて地元久留米で、文系学部同窓会との交流行事も兼ねた「創設8周年記念会」が平成26年11月16日に開催されました。

記念会は、第1部として記念講演が本学御井学舎で開催され、中国会副会長の田栄富氏から「寧波における日中交流の逸話」というテーマで、商学部OBで堀川バス株元取締役社長の金納雅彦氏から「感動は人を大きくする」というテーマで、それぞれ「人の交流」の重要性を経験や知見を踏まえて講演をいただきました。

また、第2部としてハイネスホテル久留米で交流会が開催され、中国側、日本側、双方合わせて約100人が参加した盛大なものでした。交流会では本学の神代理事長、永田学長はじめ、中国会名誉会長の薬師寺元学長など多数の来賓とともに各同窓会より役員が出席し、留学生、OBと活発な交流が展開されました。

現在、中国との関係は「政冷經熱」とも言われ、厳しい局面も散見されますが、この日の交流はとても温かく、中国会の活動が日中友好、そして本学の発展に寄与するとの期待が高まったものとなりました。

（同窓会 林田）



サークル訪問

平成26年度少林寺拳法部
OB総会が開催される!



少林寺拳法部



久留米大学の村井です。今回は私が監事をしている久留米大学少林寺拳法部OB会及び少林寺拳法部について紹介したいと思います。

久留米大学少林寺拳法部OB会は発足して6年目をむかえます。毎年4月の土曜日にOB総会を開催しています。今年度も4月19日（土）に御井学舎千歳会館大会議室にてOB総会が行われました。今回のOBの出席者は約20名程で例年と比べ若干少なかったですが、中には海外ベトナムからこの日の為に帰国して出席されたOB先輩もおられるなど、各方面でご活躍されている様々なOB先輩方が忙しい中ご出席されました。総会には、現役幹部3年生と4年生も出席して、数年後に迎える創部50周年式典に関する事等について活発に話し合われました。その後第二体育館に移動してOBも含めての基本練習と現役による演武が披露されました。それからやなぎ亭（旧柳食堂）で懇親会があり、現役・OB共に大いに盛り上りました。

現在少林寺拳法部は、4年生4名（うち女子2名）、3年生6名（うち女子3名）、2年生5名（うち女子3名）、1年生（新入生）は今多数勧誘中で日々練習に励んでいます。少林寺拳法といつても余り知らない人もいるかと思いますが、開祖の教えのもとに護身練鑑・精神修養を目的とした護身術であり、女性でも子供でも誰でもできる理にかなったすばらしい武道です。部員はその教えのもと厳しい時もありますが、みんな和気あいあいと楽しく懸命に練習に励んでいます。私もOBの一人として、大学に勤務する者として微力ながらも少林寺拳法部の今後の発展に少しでも寄与していくたいと思っています。部活動やサークルに入っていた方にはあまり縁がないかもしれません、他の体育系や文化系の部やサークルに入っていたOB諸氏も多数おられるかと思います。この記事を読んで大学時代を思い出して、同窓会やまた各OB会に参加したり、学生のクラブ活動に顔を出したりしてみてはどうでしょうか。今後各会や集まりの参加者が増えることを願って、私の報告を終わりたいと思います。

（文責：村井 健太郎）



法学部パーティ

12月10日（水）御井キャンパス学生会館ミーティングルームにて、恒例となっている法学部パーティが開催されました。

この法学部パーティは学生と先生方の交流の場を設けようということで、退職された園子先生が、「学生と先生方との交流の場を持とう」という目的で始められたものですが、気が付けば今年で10回を数えることとなり、今では法学部生にとって一年を締めくくるイベントとして定着しました。

途中、学生課長の作詞作曲による歌も披露され、会場は大いに盛り上りました。



にこやかな面々



お楽しみのbingoゲーム



豪華賞品も盛りだくさん!



恒例のクイズ大会も

このパーティは法学部チューターが会議を重ね全力で企画・運営を行っています。同窓会も後援しており、これまた恒例となっている“クイズ”でパーティを盛り上げました。

折戸同窓会長の挑戦状とも言える“法学部らしい”問題に会場の皆さんは右往左往…。

最後の問題にたどり着く頃には勝ち残ったのは僅かな人数となり、優勝者には携帯音楽プレーヤーが贈られました。

先生と学生の絆を深める法学部パーティ、今後も樂しく続いていることを願っています。

職業と社会

一昨年から法学部同窓会もお手伝いさせて頂いていた法学部授業「職業と社会」。

今年度も多くの卒業生の方に講師としてお話を頂きました。



この授業は学生の卒業後の進路選択の指針となればという目的で始まったものです。

特に法学部は民間企業への就職だけでなく、公務員志望の学生が少なくなつたため視野をより広く持つてもらいたいという学部の希望も含まれています。

昨年度よりも授業回数が増え、講師の方も更に幅広い分野からお招きし、学生たちにとっては興味深いものとなつたようです。

一昨年から継続して講師を務めておられる卒業生の方は、学生の笑いを引き出すような話を盛り込むなどゆとりすら感じさせる講義内容でした。



しかし、卒業したてのフレッシュな講師の方は、100名を超える学生を前に、始めのうち緊張を隠せない様子でしたが、質疑応答コーナーに移るころには肩の力も抜けたのか笑顔で質問に答えられるようになり冗談も出るようになりました。

法学部同窓会は講師を引き受けて下さる卒業生の方と、学部との橋渡し役をさせて頂いておりますが、今後も引き続きバックアップを続けたいと思います。





法学部 第25回 卒業式

久留米大学卒業式々場

3月20日久留米大学卒業式が御井キャンパス内みいアリーナにて挙行されました。

今回で法学部卒業生は25回を数えることとなり、久留米大学法学部の歴史がまた一つ刻まれました。

雪り空の下、冷たい風が吹く生憎の天気ではありましたが、華やかな晴れ着に身を包んだ卒業生が、卒業式会場となるみいアリーナ前で友人を見付ける度に記念撮影をして、笑顔で語りあっています。

滞りなく式は終了した後、会場をホテルニュープラザに移し、卒業祝賀会が開催されました。

荒井法学部長のお祝いの言葉に続き、卒業生を交えた鏡開きの後、今年度をもつて退官される石川捷治先生の音頭で乾杯が行われ祝賀会が華々しく始まりました。

会場では卒業生達がお世話になつた先生方と別れを惜しみながらも、新たな世界に向けた期待も感じているのでしよう、その表情は一様に輝いていたように感じます。

祝賀会の終盤、初の試みとしてチユーターへの感謝状が贈られることとなり壇上で荒井法学部長から法学部チユーター一人ひとりに感謝状が手渡されました。

その後、法学部長とチユーターによる万歳三唱で明るく和やかな祝賀会は幕を閉じました。

283名の新たな旅立ちに、幸多かれと心からのエールを贈ります。

私は入学当初、大学で何を学ぶのか、どう過ごしたらよいのかよくわかりませんでした。

しかし、学生生活を通じて、様々な人と出会うことで、とても有意義な学生生活を送ることが出来ました。私の中で、一番印象に残っているのがチユーター活動です。



北村美津希
(国際政治学科)

卒業生抱負

社会人になり、困難なことも多くなっていますが、チユーター活動や久留米大学で学んだことを最大限に生かし、またここまで支えてくれた全ての人へ感謝しながら新たなことに挑戦していきたいと思います。

会社探訪

今回は、消防士・救助隊として、活動されている緒方義大さんにインタビューさせて頂きました。



久留米市広域消防本部 緒方 義大さん（平成21年卒）



**Q
2**

そのお仕事のやりがいや、続けてきてよかったことなどのエピソードを教えてください。

A

⇒住民の生命・身体及び財産を守るために働く仕事というものは、やはり特殊であり、何事にもやりがいを感じないときはありません。ある日、小学生がクリークに落ちたという水難事故がありました。現場に私たちが到着したときには意識を失っていた少年が、後日、病院を退院し笑顔で消防署を訪問してきました。そのとき、笑顔で「ありがとう」と言わされた時は胸にこみ上げるものがありました。

**Q
1**

現在、どのようなお仕事をなさっていますか？

A

⇒消防士、救助隊として、日々の業務を行っています。救助訓練をはじめ、救助隊員にとって必要不可欠である体力の向上、写真や過去の災害事例をもとにしたシミュレーション等、日々いつ起こるかわからない災害に向け様々な訓練を行っております。

**Q
3**

逆につらかったことや困難を乗り切ったことのエピソードはありますか？

A

⇒私達の職場では、新任者特別救助訓練というものがあります。消防士として一人前になるために行われる訓練です。自分たちの限界に挑戦し、災害現場以上の厳しさを感じることで、今後の現場活動の糧とする。体力の向上だけでなく、消防士としてのメンタリティを向上させます。想像を絶する訓練に何度もくじけそうになりましたが、職場の同期達とともに支えあい乗り越えることができました。

**Q
4**

学生時代で最も印象に残っていることは何でしょうか？

A

⇒サークルの活動はもちろん、多くの友人と過ごした大学時代は私の大切な宝物となっています。中でも、バイト生活が最も印象深く、三年間同じバイトを続けた私は社会人とはどういうものか、また、接客業としての厳しさを痛感させられたのを、今でも鮮明に覚えています。

**Q
5**

社会で頑張っている久留米大学同窓生の皆さんへエールをお願い致します。

A

⇒私の職場にも久留米大学の先輩や後輩が働いています。熊本出身の私にとって、久留米は第二の故郷あります。多くの同窓生が働いて頑張っていることが、非常に心強いです。これからも、共に頑張っていきましょう。

第1回法学部同窓会主催 懇親ボウリング大会

実施報告



平成27年2月28日17:30よりスポガ久留米ボウリングセンターにおきまして、法学部同窓会主催懇親ボウリング大会を実施いたしました。

年度末にかかる慌ただしい時期ではありましたが20名のご参加を頂きありがとうございました。感謝申し上げます。

開催しました背景としまして、現在法学部同窓会の事業として会則の中に同窓生間の交流支援という項目があります。同窓生が集う場として、現在春先の年次総会、懇親パーティーと集う機会がありますがもっと同窓生が集まる機会を設定すべきだという声が会議にて提案がありました。事業年度の途中ではありますが新しいことにどんどんチャレンジすべきとの声があがりいろんな制約がある中ではあるがまずやってみて、来期からの同窓会活動に生かしていく意見がまとまり実施する運びになりました。

また、3月には久留米大学全体で卒業生に向けて、懐かしい学び舎で卒業生に交流して頂く機会として「ホームカミングデー」が初開催になり、同窓会としてその告知PRの場もあわせて実施すべきということで開催前月の2月に開催する流れとなりました。

和気あいあいと
好プレー、珍プレーが続出!!



全く知らなかった同窓生同志も、
今回の機会を通じて大変盛り上りました。

ボウリング大会の内容としましては、全く知らない同窓生同志でチームを組み2ゲーム実施しチーム対抗戦、個人戦で和気あいあいとプレーされ好プレー、珍プレーが続出し、大変盛り上りました。

懇親会、表彰式は西鉄久留米駅近くの久留米大学卒業生のお店「上海夢飯店」にて盛大に行われました。

表彰式では松下哲也さん（H9年卒）が個人戦、団体戦も松下哲也さん、藏森有沙さん（H23年卒）藤竹智春さん（H20年卒）が優勝され豪華賞品として久留米大学グッズより厳選して贈呈いたしました。

始まる前は全く知らなかった同窓生同志でしたが、今回の機会を通じて大変盛り上がった話ができたようで参加された同窓生の皆様から「大変楽しかった、またやってください！」との言葉があちこちで聞かれまったく新しいことでしたがチャレンジして良かったと思いました。今後はボウリング大会に限らず卒業生が楽しく交流して頂く企画を計画中です。HP、facebook 等を通じてご案内いたします。
(木下 博和)



平成26年度法学部同窓会定期総会・懇親会開催

平成26年5月24日（土）、御井キャンパス学生会館において、法学部同窓会定期総会・懇親会が開催されました。

定期総会は学生会館3階ミーティングルームにて37名の参加者（委任状140通）のもと下記の議案（※）について提案が行われ、いずれも承認可決されました。

総会終了後は同じく学生会館2階の「櫻（けやき）」に会場を移し懇親会が開催されました。今年度から新たな試みとして、来場者の皆様に懇親会開催までのひと時を寬いでいただきこうとウェルカムドリンクが振る舞われました。

例年であれば懇親会開催までの時間はキャンパスツアーを行っておりましたが、御井本館建設中ということもあり残念ながら見送られました。

27年度には御井本館第一期工事が終了し、新しく進化していく御井キャンパスの姿をご覧頂けることと思います。

今年も多くの卒業生の皆様、先生方はもちろんのこと、商学部・経済学部、文学部各同窓会幹事の皆様にもご来場いただき大変和やかな時間をお過ごしいただけたことと思います。



※第一号議案 平成25年度事業報告について
第二号議案 平成25年度決算報告について 監査報告
第三号議案 平成26年度事業計画について
同窓会による学生支援について
第四号議案 平成26年度予算の決定について
第五号議案 役員の選任について

今回の懇親会はお子様連れの方が多く会場のあちらこちらで可愛らしい姿が見受けられ、同窓会の活動が確実に卒業生の皆様に喜んでいただけていることを実感できた会でもありました。

恒例となっているbingoゲームも景品を充実させ、楽しみにしていただける企画としてこれからも努めてまいります。

平成27年度定期総会・懇親会は5月30日（土）に開催いたします。

より多くの卒業生の皆様の元気な笑顔でお越しいただけることを執行部一同心よりお待ちしております。



平成25年度決算・平成26年度予算 (自 平成25年4月1日～至 平成26年3月31日)

(単位：円)

借 方		貸 方					
款	項	26年度予算案	25年度決算額	款	項	26年度予算案	25年度決算額
事 業 費				会 費 収 入		6,140,000	7,480,000
旅 費・交 通 費	4,060,000	3,257,581		入 会 金		6,140,000	7,480,000
会 議 費	350,000	272,000		会 費		0	0
総 会 費	20,000	3,384		利 息 収 入		0	0
涉 外 費	850,000	604,903		預 金 利 息		1,500	1,385
印 刷 費	100,000	89,210		雜 収 入		1,500	1,385
会 報 費	20,000	4,200		雜 収 入		0	34,000
広 報 費	1,800,000	1,572,731		立 替 金		0	34,000
支 部 対 策 費	100,000	79,400		立 替 金		0	0
あのく祭 援助費	70,000	70,630				0	0
補 助 費	250,000	250,000				0	0
	500,000	311,123				0	0
記 念 事 業 費		0	0				
記 念 事 業 費		0	0				
事 務 費		4,000,000	3,064,763				
人 件・福 利 厚 生 費	2,700,000	2,770,765					
事 務 局 維 持 費	150,000	106,518					
通 信 運 搬 費	100,000	90,866					
消 耗 品 費	30,000	27,129					
雜 備 品 費	1,000,000	65,550					
備 品 費	10,000	0					
支 払 手 数 料	10,000	3,935					
積 立 金 支 出		1,000,000	1,000,000				
基 本 金 支 出	1,000,000	1,000,000					
事 業 積 立 金 支 出	0	0					
未 払 金		0	0				
未 払 金		0	0				
予 備 費		132,844	0				
小 計		9,192,844	7,322,344	小 計		6,141,500	7,515,385
次 年 度 總 越 金		0	3,051,344	事 業 積 立 金 取 前		0	0
合 計		9,192,844	10,373,688	前 期 總 越 金		3,051,344	2,858,303
				合 計		9,192,844	10,373,688



平成25年度																	
20日	3月9日	28日	25日	1月16日	12月14日	11月9日	31日	10月5日	9月4日	7月13日	6月18日	25日	18日	5月17日	20日	4月4日	
第24回法学部卒業式	商経佐賀支部新年会	1月理事会	綱紀監査部会	学部授業「職業と社会」最終日	国際交流懇親会	法学部パーティ	広報部会	商経同窓会田代支部会	御井学舎新事務棟起工式	平成25年度定期総会反省会	連合同窓会運営委員会	於..御井学生会館2階 櫻	平成25年度久留米大学法学部定期総会	於..御井学生会館3階ミーティングルーム	久留米大学法学部同窓会学内支部総会	商経同窓会総会・懇親会	入学式(法律学科27回・国際政治学科20回)

副会長

松尾 朝子

(5期生)



5期生の松尾です。地元を離れて20数年の月日が経ち、すっかり久留米が第2の故郷になりました。

一昨年、昨年と出産し、ようやく二児の母となりました。現在は、理解ある夫の協力のもと、旅行代理店の経営をしながら、子育てに奮闘中です。

これからも同窓会活動を通じて、母校の発展に少しでも貢献できるよう頑張ります。

副会長

山下 士功

(1期生)



1期生の山下志功です。同窓会再建当初から関わらせてもらっています。会の運営に必要な最低限のルールやマナーを守るのはもちろんですが、同窓会の目的はシンプルに楽しく以外にありません。よろしくお願ひします。

理事 財務部会責任者

林田 俊彦

(2期生)



法律学科第2回卒業の林田です。引き続き理事(財務担当)を拝命しております。学内職員として同窓会と大学との懸け橋として、また新たな同窓会活動の展開に尽力できればと考えております。よろしくお願申し上げます。

理事 事務局担当

佐々木美佐子

(1期生)



1期生の佐々木美佐子です。当初は役員として同窓会に参加しましたが、事務局を担当することとなり、気が付けば10年が経とうとしています。

久留米大学と卒業生の皆さんの架け橋として、今後も地道に活動できればと思っております。

執行部

財務部会責任者

日比生総子

(2期生)



桜の季節となりました。卒業してから早・・・年、今年は古くからご縁を頂いている方のご子息が卒業なさると聞き尚更時の流れを感じております。本期も一人でも多くの皆様に楽しんで頂ける会となりますよう尽力してまいります。是非、新緑の頃総会・懇親会でお待ちしております。

理事 学内支部長

村井健太郎

(1期生)



1期生の村井健太郎です。現在久留米大学財務部用度課に勤務しています。

学内支部長として学内支部及び同窓会活動の活性化と大学の更なる発展のために尽力を尽くします。また少林寺拳法部OB会活動も頑張ります。

理事 広報部会責任者

小原 哲哉

(11期生)



法学部11回卒の小原哲哉です。卒業生の皆様がもっと繋がりていけるような環境作りができたたらと思っております。宜しくお願い致します。



役員紹介

理 事
平 紗世
(13期生)

大学を卒業して早くも12年がたちましたが、こうして同窓会に関わらせていただいていることで、ついこの間まで大学で講義を受けていたような気持ちでいれます。

皆さんも一度母校に足を運んでみてください。

理 事
益村 佳奈
(10期生)

10回生の益村佳奈と申します。
今年で執行部役員をさせて頂いて3年になります。
この法学部同窓会が卒業生皆様にとってより良い会としてお役に立てるよう、これからも頑張らせて頂きたいとおもっています。どうぞ宜しくお願い致します。

理 事
木下 博和
(5期生)

はじめまして 5回卒の木下博和と申します。
佐賀県白石高校出身で現在も佐賀在住です。在学時はアイスホッケー部に所属し学食かスケートリンクの毎日でした。役員になったのは、法学部会報の記事を見ながら一度同窓会をのぞいてみようと参加を続けるうちに声かかりお手伝いすることとなりました。在学時あんまり勉強しなかった方でも気軽に遊びに来れる場所づくりに励んでいきたいと思います。

理 事
植松 徹也
(6期生)



みなさんこんにちは。卒業して早20年(汗)。
この間に、一休、なべや、あさづま食堂などが閉店し寂しくなりましたが、駅やバイパスができ、大学は新棟も建ち、だいぶ便利になりました。お近くに来たら御井学舎の変化を見に来てください(^^)

理 事
川口 彩夏
(21期生)



法律学科21回卒業の川口です。
新棟も完成し、大学内も久留米の町並みも大分変わつて寂しい反面わくわくします。

久留米に寄った際は後輩たちの顔を見に大学へも足を運んでみてください。総会では皆様とお会いできることを楽しみにしています。

理 事
末田 佳之
(17期生)



「こんにちわ、第17期卒業の末田です。ついこの間までこのキャンパスに通っていたつもりでいましたが、気が付けば卒業してから8年経ち、あの頃を思い出しながら時の早さに驚いています。卒業生の皆さんにも御井キャンパスに通っていた頃を思い出していただけるよう、少しでも力になればと思っています。」
以上

理 事
藏森 有沙
(21期生)



21回卒の藏森有沙です。
5月にある久留米大学の同窓会に毎回出席してたら役員にスカウトされ、役員になりました。
みんなが来てくれる同窓会にしたいと思います。
よろしくお願いします。

大家名誉教授の傘寿を祝う会

昨年10月にホテルエスプリにて「大家先生の傘寿を祝う会」を盛大に開催しました。

久々にお会いする大家先生は、80才とは思えないほどお元気で、活力に満ち溢れいらっしゃいました。今でも精力的に仕事をされていてご活躍中です。

そんな大家先生のもとに、ゼミ生を中心として先生を慕う方々や、先生方にお集まり頂き、とても楽しいひと時を過ごす事ができました。また、これを機に集まろうという話題にもなり「大家会」を発足する運びとなりました。大家先生をはじめお集まりいただいた皆様、お忙しい中、本当にありがとうございました。併せてこの会の開催に際しまして、同窓会にもご協力頂きましたことを心より御礼申し上げます。

(松尾 朝子)



久留米大学教職員学内同窓会

櫻(けやき)会開催

参加者の声



財務部用度課勤務

古川 雄司
(法学部卒)

久留米大学財務部用度課の古川です。
みんな元気ですか！同窓会来てください。



医学部教務課勤務

古賀美早紀
(法学部卒)

皆さん頑張ってますか？私も日々頑張っています！
久留米大学（同窓会）に遊びに来てね！



久留米大学愛恵会勤務

橋村 祐加
(法学部卒)

社会に出て大学時代の友人に会う機会も減っていると思うので、是非同窓会に来て大学時代の話や仕事の話をしましょう。



病院事務部医事課勤務

橋口 知幸
(商学部卒)

田浦！同窓会にも顔出せよ！



病院事務部管理課

下川 朋義
(文学部)

大学病院にお越しの際は、何なりとお申し付けください。



病院事務部医事課

白坂 良太
(経済学部)

大学病院に勤務しています。いつも全力投球です。
病院に来たら声かけてください！

平成26年10月31日（金）久留米大学文系学部を卒業し、大学で教職員として勤務している方たちの親睦・連携を図り、本学の発展に寄与することを目的として設立されたのが櫻会です。年に1度の懇親会が今年も開催されました。そこで参加者の方に学部を超えて声を寄せて頂きました。

近況報告用原稿用紙

久留米大学法学部同窓会会報に皆様の近況をお寄せ下さい。
こちらの原稿用紙を使用してFAXでのご寄稿が可能です。

同窓会事務局FAX番号 0942(43)5164

20×20

法学部

学科

平成

年來

(ふりがな)
氏名

住所

電話番号

久留米大学法学部同窓会住所変更・お問合せ用FAX用紙

事務局FAX番号 0942 (43) 5164

住所変更のお届けや、お問い合わせにご利用下さい。

1~6については必ずご記入・ご選択ください。(3を除く)

1. 卒業年 _____ 年(西暦)

2. 学科 法律 / 國際政治 (どちらかを○で囲んでください)

3. 学籍番号 _____ (任意)

4. お名前 (ふりがな)
(姓名を変更された方は在学中の旧氏名をご記入ください)

5. 性別 男 / 女 (どちらかを○で囲んでください)

6. 生年月日 _____ 年(西暦) _____ 月 _____ 日

以下は変更箇所のみご記入下さい

【住所変更】一転居等による新住所等について

郵便番号 _____

ご住所 _____

電話番号 _____

【改姓名】一姓名の変更について

姓 名 (ふりがな)

(姓名を変更された方は上記4. に旧氏名をご記入ください)

【通信欄】一その他連絡事項等がありましたらご記入下さい

【個人情報の保護について】

- * この用紙にて収集した個人情報は、本同窓会の個人情報保護に関する規約に従い厳重に管理いたします。
- * ご提供頂いた個人情報は定められた目的以外に使用することはいたしません。
- * あらかじめ事前の同意を得た場合、法に定めのある場合を除き個人情報を第三者に提供することはありません。

同窓会事務局より

平成27年度定期総会のお知らせ

日時：平成27年5月30日（土） 午後2時30分～（受付：午後2時～）

・総会議事 午後2時30分～午後3時30分（予定）

*総会終了後懇親会まで時間がありますので、懇親会場にて
ウエルカムドリンクなどお飲みになりながら先生方や同窓生の皆さんとご歓談ください。

また、竣工なりました御井本館等をご案内するキャンバスツアーや開催いたします。

・懇親会 午後4時～午後6時30分 御井学生会館2階「櫻(けやき)」

会場：久留米大学・御井キャンパス 学生会館3階「ミーティングルーム」

議題：平成26年度事業報告ならびに決算承認について

平成27年度事業計画ならびに予算案承認について

その他

住所連絡のお願い

現住所、電話番号など変更がありましたら、同窓会事務局までご一報ください。

また、ホームページからのお届け、16ページにありますFAX用紙もご利用ください。

会報への投稿について

近況報告やゼミ会などの報告など会報への投稿をお待ちしています。

また、16ページの「FAX用原稿用紙」をご利用いただくことで、お気軽に会報への投稿も可能です。FAXは文末にある事務局直通の番号にお願いいたします。

さらに学生時代の思い出の写真などございましたらご投稿お願いいたします。簡単なエピソードなど添えて頂けると幸いです。

お問い合わせなどありましたら、下記までお気軽はどうぞ。

同窓会事務局 TEL・FAX 0942 (43) 5164

E-mail : krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp



皆様はホームカミングデーというイベントをご存知でしょうか。もともと私立大学を中心に行われていたものが、その後国立大学にも広まり、現在では多くの大学が実施しているようです。ご存じの通り、本学でも最初のホームカミングデーが3月22日に開催されました。

私は同窓会の活動で久留米大学をしばしば訪問しておりますが、もしこの活動に携わっていなければ学校に足を運ぶことはあまりないのではないかと考えてしまいました。この会報を読まれている皆様のなかにも、そういえば卒業後には母校を訪問していないなと思う方がおられると思います。

ホームカミングデーが大盛況の大学が多くあると聞きます。これは私が他の大学を少し羨ましく思うところです。母校を愛して卒業後にも集うことは素晴らしいことですし、学校を通じての連帯は必ず社会でのプラスの効果があると思います。

同窓会は卒業した皆様が主役であり、在校生、先生方、職員の方々ともあたたかい交流ができる場所が提供できればと思います。多くの卒業生の方々が笑顔で母校に帰ってきていただけるお手伝いが出来ればと願い活動してまいります。

平成27年5月8日

小原 哲哉



発行所 久留米大学法学部同窓会

〒839-8502 久留米市御井町 1635

TEL/FAX 0942 (43) 5164

URL : <http://kurume-hougakubu-dousoukai.jp/>

E-mail : krm-hou-dou@khh.biglobe.ne.jp

発行人 折戸 謙介

印刷所 株式会社 大里印刷センター